

◎「彦根市子どもの貧困対策計画」 成果指標 現況値・達成状況等 一覧

資料2-⑦

基本視点1 子どもたちの学びを応援

No	指標 内容	平成28年度	平成29年度		平成31年度	関連施 策番号	担当課 (所管課)	備考 (指標概要等)
		現況値	実績値 [H30.3.31現在]	達成状況	平成29年度実績値・達成状況に対するの担当課意見			
1	地域子育て支援センターの整備	2か所	3か所	○	継続してセンターでの事業内容の充実を図る	3か所	【1】①	子ども・若者課 子ども・若者プラン(再掲) 地域子育て支援センターの整備の進捗状況がわかります。
2	家庭支援推進保育士の配置	9園	9園	□	対象家庭の実情に合わせて適切な支援を実施してゆく	13園	【2】②	幼児課 家庭支援推進保育士の配置の進捗状況がわかります。
3	保育所一時預かり事業の実施	19園	20園	△	事業継続し、子育て環境の向上を目指す。	25園	【2】③	幼児課 子ども・若者プラン(再掲) 一時預かり事業の取組の進捗状況がわかります。
4	保育所待機児童の解消(4月1日現在の待機児童数)	51人	20人	△	H31の無償化に伴いニーズ量が増加する可能性がある	0人	【2】⑤	幼児課 子ども・若者プラン(再掲) 保育ニーズに対する取組の進捗状況がわかります。
5	児童生徒の基礎・基本的な学習内容の習得状況(各年度の結果)	小 74.5%	小 76.0%	△	継続的な取組によって全国の平均的な学力に近づきつつある。今後も継続的に取組の充実を図る。	小 80.0%	【3】①	学校教育課 子ども・若者プラン(再掲) 80.0%を目指すために、授業改善や学力補充、支援員の配置などに取り組みます。
		中 67.3%	中 70.0%	△	継続的な取組によって全国の平均的な学力に近づきつつある。今後も継続的に取組の充実を図る。	中 80.0%		
6	就学援助認定基準の拡大	生活保護の基準の1.2倍	生活保護の基準の1.2倍	□	生活保護の基準については、平成25年8月の改正前の基準を使用しており、生活保護基準見直しの影響を受けないよう配慮をしている。	拡大	【3】⑥	学校教育課 就学援助認定基準の拡大に向けた取組の進捗状況がわかります。
7	スクールソーシャルワーカーの配置	1名配置	1名配置	□	スクールソーシャルワーカーの派遣により、子どもの取り巻く環境の改善を図ることができ、今後も継続して配置していきたい。	2名配置	【6】①	学校教育課 スクールソーシャルワーカーの配置の進捗状況がわかります。
8	地域での学習支援教室の整備	1か所	7か所	○	「地域未来塾」として市内7か所(全中学校)で9教室開設し、各中学校の状況に応じて学習を深めたい中学生や家庭の事情等で家庭での学習が困難な中学生に対して、地元の大学生や地域の教員OB等が学習支援員となり学習支援を行った。学習支援員の安定的な確保が課題となっているので、今後はさらに事務局と学校が連携を深めて学習支援員の確保に取り組んでいく。	7か所	【7】	生涯学習課 子ども・若者課 子ども・若者プラン(再掲) 学力支援教室の整備の進捗状況がわかります。中学校区に1か所の整備を目標します。
9	放課後などの学習支援員の登録者数	23人	96人	○	学習支援員の登録者数は多いが、学生などは出務可能な日に偏りがある。今後は広く地域から学習支援員を募るなど、開設する日すべてに学習支援員が十分に確保できるよう努める必要がある。	35人	【7】①	生涯学習課 学習支援員の確保に向けた取組状況がわかります。

基本視点2 子どもたちの育ちを応援

No	指標 内容	平成28年度 現況値	平成29年度			平成31年度 目標値	関連施 策番号	担当課 (所管課)	備考 (指標概要等)
			最新現況値	達成状況	平成29年度実績値・達成状況に対する担当課意見				
10	放課後児童クラブ受入児童数	1,214人	1,355人	△	全てのクラブにおいて、夏休み期間限定児童を含め、年間を通して入会を希望する児童を全員受け入れることができた。	1,372人	【10】①	生涯学習課	子ども・若者プラン(再掲) 放課後児童クラブのニーズに対する取組の実施状況がわかります。
11	子ども食堂・学べる場の整備	0か所	7か所	△	子ども食堂6箇所、学べる場1か所。残り2年間で各小学校校区に1か所の17箇所の整備をめざす。	17か所	【11】②	子ども・若者課	子ども食堂・学べる場の整備状況がわかります。
12	フリースペースの整備	0か所	2か所	△	ふるさと、さざなみ苑の2箇所。 平成30年度以降の制度や支援方法等の検討を要する。	3か所	【11】③	子ども・若者課	フリースペースの整備状況がわかります。
13	若者の居場所の整備	0か所	2か所	△	「サロンなないろ」、「通信サロン」の2箇所。 3箇所目の居場所の整備を要する。	3か所	【11】④	子ども・若者課	若者の居場所の整備状況がわかります。
14	ひとり親家庭の親子が過ごせる居場所の整備	0か所	1か所	○	目標は達成しているが、開催日については自由参加としており、「第3の居場所」として気軽に足を運んでくれるよう、事業内容について、参加者とその親へ事業に関する意見を聞く機会(アンケート等)をつくりたい。	1か所	【11】⑤	子育て支援課	ひとり親家庭の親子が過ごせる居場所の整備状況がわかります。
15	ショートステイ受入施設数	2か所	7か所	○	「子どもと家族を守る家」の登録者に委託を実施することで、利用者のニーズに答えられる体制づくりをおこなった。	3か所	【12】	子育て支援課	子ども・若者プラン(再掲) 子育て短期支援事業の取組の進捗状況がわかります。
16	いきがいわくワークセンターにおける就労決定件数(H28年度開設)	—	18件	□	22件の就労支援に対し、18件の就労決定となった(就職率82%)。求職者のニーズや特性に対応し、多岐に渡る求職者の就労決定につなげられるよう、センターへの登録企業の開拓も行っていく。	50件/年間	【14】①	社会福祉課	センターにおける就労支援の取組の進捗状況がわかります。
17	自立支援教育訓練給付・高等職業訓練促進給付金受給者数	8人(H27実績)	15人	○	助成対象者に対し、受講中から資格取得後の求職活動までのフォローと、就職後のアフターフォローまでを計画的に行う。	9人	【14】②	子育て支援課	教育訓練・職業訓練の取組の進捗状況がわかります。
18	ひとり親家庭向け市営住宅の募集	1件/年間	1件/年間	○		1件/年間	【17】②	建築住宅課	ひとり親家庭向け市営住宅の募集状況がわかります。

※No.11子ども食堂・学べる場の整備、No.12フリースペースの整備の現況値については、滋賀県社会福祉協議会滋賀の縁創造実践センターの補助で実施されているものもありますが、本計画の現況値としては「0か所」としています。なお、彦根市内ではこの補助を受けて、子ども食堂が5か所、フリースペースが1か所実施されています。(平成29年1月現在)

基本視点3 みんなで応援

No	指標 内容	平成28年度 現況値	平成29年度			平成31年度 目標値	関連施 策番号	担当課 (所管課)	備考 (指標概要等)
			最新現況値	達成状況	平成29年度実績値・達成状況に対する担当課意見				
19	子どもの貧困に関する相談窓口の開設	未開設	開設	○	彦根市子ども・若者総合相談センターに機能追加。役割分担、切り分けが困難。平成30年度配置場所を変更。	開設	【18】①	子ども・若者課	相談窓口の開設状況がわかります。
20	むし歯のない3歳児の割合	79.5%(H27実績)	85.6%	△	継続的に歯科受診されている人もいるが、お菓子やジュースなど時間を決めずに与えている人や兄弟に合わせたお菓子を与えているなどもある。歯科衛生士や保健師が口腔内の清潔、食事内容、ケアの方法などの指導を継続して、虫歯の予防や啓発していくことが重要である。	90.0%	【18】④	健康推進課	子ども・若者プラン(再掲) 子どもの口腔状態は、保護者の子どもへのかかわりや食生活も影響することから、保護者の養育状況を図る指標になります。
21	関係機関による支援ネットワークの整備	未整備	整備	○	彦根市子ども・若者支援地域協議会に、子どもの貧困対策に関する機関等を構成機関へ追加した。	整備	【19】①	子ども・若者課	支援ネットワークの整備状況がわかります。
22	乳児家庭全戸訪問の訪問割合	89.9%(H27実績)	91.3%	△	転出者や長期里帰り等で4か月までの全数把握はできなかったが、4か月健診や相談事業等で状況把握に努め、長期的に支援していくことが重要だと感じている。	100%	【20】①	健康推進課	子ども・若者プラン(再掲) 乳児家庭全戸訪問の訪問状況がわかります。
23	地域資源を掘り起こし、育成する体制の整備	未整備	整備	○	貧困や生きづらさのある子どもの居場所(子ども食堂や学べる場など)づくりに関して、子どもたちを応援する地域や支援者を、人材育成から活動の運営までトータルにサポートする『ひとづくり・地域づくり事業』を社会福祉協議会へ委託して実施した。	整備	【21】①	子ども・若者課	地域資源を掘り起こし、育成する体制の整備状況がわかります。
24	支援対策ガイドブックの作成	未整備	作成済	○	・子どもを応援する支援機関等(子どもの貧困対策に取り組む機関等)の情報を掲載した「子どもたちの学びと育ち応援ガイドブック」を作成し、関係機関へ配布した。彦根市子ども・若者総合相談センターでは資料編を作成。	作成	【24】	子ども・若者課	ガイドブック作成の進捗状況がわかります。
25	庁内体制の整備	未整備	プロジェクトで検討中	○	平成30年度は、庁内体制の整備を図るため、彦根市子どもの貧困対策計画推進の「プロジェクト・チーム」を設置して、協議・検討を行い、提言書をまとめた。	整備	【25】①	子ども・若者課	庁内体制の整備状況がわかります。

※現況値は、平成28年4月1日現在の数値(異なる場合は記載しています。)

※平成29年度実績値は、可能な限り年度末時点(平成30年3月末日現在)の状況としています。

※達成状況は、目標値が達成できた場合は○、目標値は達成できなかったが現況値よりも改善された指標は△、現況値から変更が無かった指標は□、現況値よりも後退した指標は▼としています。

年度		H29	
目標達成項目		12	